

Bell Forum

ベルフォーラム

地域と職員とともに栄えるチーム

医療最前線 乳腺センターの挑戦

連載 登録医のご紹介

■ TOPICS 産科医療功労者 厚生労働大臣表彰を受賞しました
第12回大阪千里メディカルラリーで準優勝しました
社会医療法人生長会 創立58周年記念式/
生長会・悠人会 平成25年度SC21発表会を開催しました

ベルランド総合病院前 桜

2014
spring
No. 43



写真 中山竹治

医療最前線

乳腺センターの挑戦



乳がんは年々増加の傾向にあり、2000年頃から女性に発生する癌のトップになっています。乳がん診療は急速に発展しています。診断技術や治療方法は年々改善され、全体の治療成績も格段によくなりました。今後もこの大きな流れは変わらず、さらに多くの新しい診断法や治療法、あるいは予防法が実地臨床に導入されると考えられます。また、社会全体としての乳がんという病気への関心も高まっています。このような背景から、ベルランド総合病院の乳腺センターは乳腺疾患を専門に扱う診療科として2013年1月に設立されました。先進的な乳がん診療を推進し、同時にひとりひとりにやさしい信頼の医療を実践することを心がけています。



乳がん検診のご予約は
こちらから



ベルランド総合病院は堺市乳がん検診施設に指定されています。

乳がん検診の予約は電話で受け付けておりますが、インターネットからでも予約が可能になりました。女性医師を希望される方は、予約の時にその旨を伝えていただければ対応させていただきます。

個別化医療の提供

乳がんは多様な病態をみせる病気です。ひとりひとりの性格が異なる様に、乳癌の性質もひとりひとりで異なります。患者さんひとりひとりの病状、年齢等に見合った治療法を選択、説明し、よく理解いただいた上で、手術、放射線治療、ホルモン療法、外来化学療法室を用いた化学療法を組み合わせながら最適な治療法を提供するよう絶えず心がけています。

最新式の機器による診断

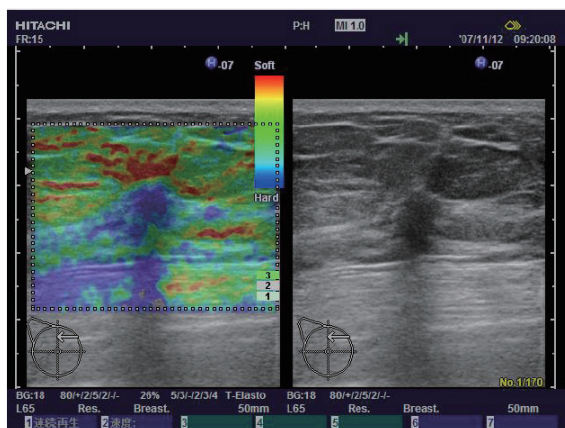
ベルランド総合病院のデジタルマンモグラフィ撮影装置、超音波検査装置はいずれも最新式のもので、マンモグラフィの撮影はすべて女性技師が担当しております。堺市の検診マンモグラフィの約半数は当院で行っております。また、超音波検査は微小な腫瘍を鑑別できることは勿論、腫瘍の硬さが分かるエラストグラフィ、今までの装置では難しかった石灰化も判別できるものになっています。通常の細胞診、針生検以外に、より微小な腫瘍の診断に使用されるステレオガイド下マンモトーム、超音波ガイド下マンモトームの両者を備えております。ステレオガイド下マンモトーム装置は南大阪地区で初のものであり、検査目的のみの紹介も受け付けております。



ステレオガイド下
マンモトーム

最新医療の提供

治療成績を下げることなく可能な限り患者さんの負担を減らす、最新の医療を行っています。手術における切除範囲の最小化やセンチネルリンパ節生検も標準的に行っています。薬物療法時の副作用の軽減に取り組み、新しい薬物使用の開発のための臨床試験、治験にも力をいれています。これらにより、治療の最大恩恵を最低限の侵襲で受けるようにできればと考えています。また、当院は乳房再建手術の認定施設であり、乳房をすべて摘出された方のために形成外科と共同で乳房再建術を行っています。



エラストグラフィ 組織の硬さを計算し、色分けで表示する
赤・・・軟らかい 青・・・硬い

集学的医療の提供

乳腺センターでは医師、看護師、薬剤師、作業療法士、放射線技師、事務の合同で乳腺チームを企画し、集学的医療を提供するように心がけています。手術後の合併症として上肢の可動制限やリンパ浮腫がありますが、リハビリテーション科で上肢のリハビリを行っており、リンパ浮腫の予防、治療に対しては看護師、作業療法士による介入を行っています。

トータルライフケアの提供

いま、乳がんは女性のライフサイクル病として考えられるようになってきました。他のがんに比べ、若い女性が罹患し、その治療は長期に及びます。特にホルモン療法は5年あるいは10年を要し、長期にわたる経過観察、気の長い病気との付き合いが求められます。治療に伴う副作用を早く見つけて適切に対応することが大切です。乳がんはしばしば両側に発生することがありますから、その定期的なチェックも欠かせません。

2014年に完成する新病院では、女性のための外来、病棟として、婦人科と合同で女性専用のレディース外来、レディース病棟を新設する予定です。こうした、治療のみならず幅の広いケアを長期にわたって提供し、地域のクリニック、診療所の先生方と共同でトータルライフケアを実現できるよう心がけております。



センチネルリンパ節生検の様子



乳腺エコー検査の様子

【 略歴 】

昭和 58 年 滋賀医科大学医学部附属病院 第一外科 医員
昭和 59 年 松下電器健康保険組合松下記念病院 外科 医員
昭和 61 年 滋賀医科大学医学部附属病院 第一外科 医員
平成 8 年 同 第一外科 助手
平成 14 年 同 乳腺・一般外科 講師
平成 23 年 同 病院教授
平成 25 年 ベルランド総合病院 乳腺センター センター長

【 資格等 】

日本外科学会：外科専門医・指導医
日本乳癌学会：乳腺専門医・評議員
日本消化器外科学会：消化器がん外科治療認定医・消化器外科専門医・指導医
日本癌治療学会：臨床試験登録医
日本臨床腫瘍学会：暫定指導医
日本がん治療認定医機構：がん治療認定医・暫定教育医
日本臨床外科学会：評議員
日本移植学会：評議員
日本内分泌外科学会：専門医・評議員
日本甲状腺外科学会：専門医・評議員
日本アフェレシス学会：認定専門医
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会：マンモグラフィ読影医
近畿外科学会評議員



乳腺センター センター長
あべ はじめ
阿部 元





登録医のご紹介

中尾内科クリニック 院長 中尾 治義 先生

内科・小児科

Q. 医師を目指したきっかけは？

A. これといった取り柄がなかったので。

Q. 診察の際に心がけている事は？

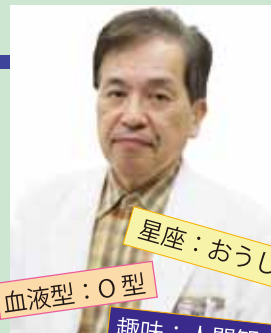
A. 患者さんの苦痛を和らげること。

Q. 地域医療について

A. 高齢化社会を迎えて、すべての人に目を向ける姿勢を地域医療に期待したい。

Q. ベルランド総合病院への希望・要望

A. 地域医療支援病院としてのご活躍を願っています。地域の中小病院との連携も（病一病連携）出来れば良いですね。



星座：おうし座

血液型：O型

趣味：人間観察

住所：堺市中区深井東町 2648-16

TEL：072-279-6250

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30～12:30	○	○	×	○	○	○	×	×
17:00～19:00	○	○	×	○	○	×	×	×

※ 休診日：水・日・祝

Q. 最後に一言お願いいたします。

A. 激増する高齢者に対しても、慈しみの目を持った病院であって欲しいと思います。

新規登録医

西区	みやびクリニック	あさいけんいちろう 浅井 健一郎先生
東区	畠山クリニック	はたやまじゅんいち 畠山 純一先生
和泉市	原田内科クリニック	ながた えみこ 永田 恵美子先生

登録医件数 H26.1.15 現在 360 件

セミナー開催予定

2月8日 (土)	第8回泉北地区消化器カンファレンス ホテル・アゴラリージェンシー堺
2月22日 (土)	「赤ちゃんにやさしい病院」認定記念講演会 スイスホテル南海大阪
2月27日 (木)	第10回ベルランド耳鼻咽喉科セミナー ホテル・アゴラリージェンシー堺
3月1日 (土)	第2回泉北 骨・関節セミナー ホテル・アゴラリージェンシー堺

管理栄養士による

糖尿病セミナー

これなら食べて大丈夫!?
～カロリーゼロの落とし穴～

ダイエットやメタボなど、
健康に興味のある方はぜひご参加ください。

日時：平成26年3月8日（土）

13:30～14:30

場所：ベルランド総合病院 東A棟8階 会議室

申し込み方法：①当院通院（糖尿病での通院）の方
診察時に医師へ申し込み

②上記以外の方

内科外来、又は栄養管理室へ申し込み
TEL 072-234-2001（代）（日・祝除く）

受講料：①集団栄養食事指導料として、240円
（3割負担の場合）※健康保険が適用されます。

②実費 500円



美化デモンストレーションについて

施設課 廣江厚子

ベルランド総合病院では、毎月第3金曜日の朝、職員有志による美化デモンストレーションを開催しています。始業時間前の30分間、約50名の参加者が病院敷地内や周辺のゴミ拾い、除草作業などの清掃活動を行っています。

療養環境への美化意識を高めるだけでなく、職員同士協力して美化活動に取り組むことが、チーム医療にとっても大切なコミュニケーションを向上させる役割も担っています。

1日の始まりに気持ちよくパートナーをお迎えするために、今後も美化デモンストレーションを継続してまいります。



木々の間もよくチェック！
側溝にも溜まっています！



こーんなにたくさん集まりました♪

第12回大阪千里メディカルラリーで準優勝しました！

臨床研修室 西田 諭美



みなさんメディカルラリーとはどんな大会かご存じでしょうか？救急医療現場を想定して医師・救急救命士・看護師が1チームとなり、与えられた状況の中で模擬患者を相手に制限時間内にどれだけの確かな診断・治療を行えるかを競うものです。

このような趣旨の大会は全国各地で開催されていますが、その中でも最も長い歴史があり、日本全国から有名救急病院が出場してくる、メディカルラリーの全国大会ともいえる大会が大阪千里メディカルラリーです。



2013年10月第12回大阪千里メディカルラリーが開催されました。ベルランド総合病院急病救急部はこの大会に堺チームとして出場し、昨年に引き続き21チーム中準優勝という好成績を残しました。出場チームのほとんどが3次救命救急センターの中、1次救急も診療する地域密着型のベルランド総合病院がこの成績を残したことは誇るべき快挙です。

この経験を実地臨床に活かすことが重要であり、患者さまに対してハイレベルな医療を提供することにつながると感じました。

産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞しました

昨年 10 月、周産期医学研究所 村田雄二所長が「産科医療功労者の厚生労働大臣表彰」を受賞されました。本表彰は、「多年に渡り地域のお産を支え、我が国の産科医療の推進に貢献し、その功績が特に顕著であると認められる医師」に対して厚生労働大臣が表彰を行うもので、産科医療従事者の意識高揚を図ることを目的としています。

村田所長は、昭和 42 年に大阪大学医学部を卒業後、昭和 46 年から 25 年間に渡って米国における周産期医学の研究、教育、臨床の各分野でご活躍され、平成 8 年には大阪大学医学部産婦人科学講座の教授就任、さらに大阪府医師会副会長、日本産婦人科学会常任理事等をご歴任されるなど、日米における産科医療のリーダーとして顕著な業績を残されてきました。



平成 21 年、社会医療法人生長会にご入職後は、周産期医学研究所長および医学教育センター長として南大阪における産婦人科医療の発展に貢献されるとともに、法人内外の医師・助産師の良き指導者として人材育成にもご尽力頂いております。

今回の表彰は、村田所長の長年に渡るご功績に与えられたものですが、私達ベルランド総合病院にとっても大変な名誉であり、村田所長に見習って日々精進し、少しでも地域医療のお役に立てればと願っております。

管理部 部長 武部克広



村田雄二所長よりひとこと

2013 年 10 月 2 日に東京霞が関にて、厚生労働大臣より「産科医療功労賞」を受賞いたしました。予期せぬ、身に余る表彰ではありますが、ありがたく表彰状と、医療の原点を想起させるヒポクラテスのレリーフが入った楯をいただきました。これは、私の大阪大学、大阪府医師会、愛染橋病院、さらにはベルランド総合病院における勤務を通して共に働かせていただいた皆様のご指導、ご理解、ご協力があったの「地域への寄与」であって、とても私一人の力で成し得たものではなく、ここにあらためて皆様方に心より感謝いたしております。



【 略歴 】

- 昭和 42 年 3 月 大阪大学医学部医学科卒業
- 昭和 61 年 7 月 カリフォルニア大学アーバイン校 医学部産婦人科教授
- 平成 8 年 4 月 カリフォルニア大学アーバイン校 名誉教授
- 平成 8 年 4 月 大阪大学医学部産科婦人科学教室教授
- 平成 14 年 4 月 大阪大学医学部附属病院副院長
- 平成 18 年 4 月 大阪大学名誉教授
- 平成 18 年 4 月 社会福祉法人石井記念愛染園 愛染橋病院 病院長
- 平成 21 年 4 月 社会医療法人 生長会 周産期医学研究所所長 兼 医学教育センター長

Excellent License

看護部 石川智子



認知症看護認定看護師に認定されました！

現在、日本では4人に1人が65歳以上の高齢者であり、入院患者の高齢化が年々進んでいく傾向にあります。限られた在院日数で治療を優先させなければならない状況が多い急性期病院では、認知症高齢者のその人らしさを尊重し看護していく一方で、薬物投与や身体拘束によって安全を守ることを中心にケアしていかなければならないことに、日々ジレンマを感じていました。

そこで、専門的知識・技術の習得とともに、根拠に基づく実践により法人全体における認知症看護の質の向上を目指したいと考え、認知症看護認定看護師への道を選びました。

具体的な活動としては、まずは自部署の対応困難な認知症患者様について、カンファレンスの中で情報共有・アセスメントを行い、接し方や療養環境の調整、具体的な介入方法についてのアドバイスをします。また、認知症とせん妄についての病棟単位のミニ勉強会や施設単位の認知症ケア研修会を企画・開催しています。



病棟でのカンファレンスの様子



看護補助者研修では講師として「高齢者の介護」についてお話をいただきました。



急性期病院における認知症看護では、高齢者の尊厳やその人らしさを守りつつ、計画通りに治療が進むことで、早期に住み慣れた環境へ戻るができるよう支援していくことが役割であると考えます。そのためには、医療者が認知症に対する正しい知識を持ち、適切な対応により行動心理症状やせん妄の出現を最小限に抑えることが必要であり、看護師全体の知識の向上に努めていきたいと思っています。

医療現場だけでなく、介護施設や在宅においても認知症ケアのニーズは高まる一方であり、認定看護師の役割である実践・指導・相談を実践すると共に、認知症パートナーとの関わりを通して高齢者全般の看護の担い手となり、地域医療に携わる一員として貢献したいと考えています。

社会医療法人生長会 創立 58 周年記念式 生長会・悠人会 平成 25 年度 SC21 発表会

平成 25 年 12 月 1 日
国際障害者交流センター ビッグ・アイ にて開催されました。

恒例の当法人創立記念式と SC（サービスクリエーション）21 の発表会を昨年 12 月に開催いたしました。

当法人は『愛の医療と福祉の実現』『地域と職員と共に栄えるチーム』『行き届いたサービス』という理念の下、おかげさまで創立 58 周年を無事迎えることが出来ました。

記念式典では永年勤続者の表彰や、顕著な学術的活動が認められる者に対する学術貢献表彰、さらにベストサービス職員表彰が行われます。このベストサービス職員表彰は、サービスに対して悪いところだけに目を向けていくのではなく、良い部分を褒め称えることによって職員のモチベーションの向上、自主的改善、当事者意識の醸成を行い、サービスの品質向上を行う善循環につながる活動です。



ベストサービス表彰の様子
薬剤部 渡邊裕之主任が表彰されました。



発表の様子



法人内のすべての施設から職員が集まりました。

テーマパークやショービジネスにおいて不動の地位を確立している企業に『ディズニー』があります。当法人では平成 12 年にフロリダのディズニー・ワールドにおいて『ディズニー・インスティテュート』研修を行い、ディズニースタイルによるサービスの提供を参考に、明確な理念の下、顧客を知り、サービスの基準を明確にし、職員教育と業務改善に注力し、それらを評価するシステムを構築しています。

SC21 発表会では、1 年間の QC 活動による業務改善の発表を行いました。12 年前に初めて開催された頃は QC の手法もあやふやで、内容も部署の一部に限局した活動が目立っていましたが、今回 13 回目をむかえ、業務改善方法自体の質が向上し、活動内容も多部署横断的な活動が増えてきました。

発表会では、生長会・悠人会の全施設から選抜された発表演題の中から優秀演題を 3 演題表彰しますが、今年はベルランド総合病院から以下の 2 演題が選ばれました。

- 『脳梗塞患者いつ助けるか?! 今でしょ!』 ICU 発表
・・・rt-PA 療法のスムーズな受け入れシステムを構築した
- 『薬剤適正使用プロトコルの拡大』 薬剤部発表
・・・薬剤師による医師の負担軽減を行いつつ薬剤の適正使用を行うために活動した

これからも業務改善によるサービスの質の向上を行い、安全で安心な医療の提供に向け努力を続けてまいります。

管理部・診療技術部 副部長 村中 秀樹



社会医療法人 生民会
ベルランド総合病院

健康塾

ベルランド総合病院では、地域の皆さまの健康推進に役立つことを目的に、専門医による「健康塾」を開催しています。ご参加は無料ですので、お気軽にお越しください。

お問い合わせ 地域医療連携室
072-234-2001 (代)

今後の予定

第12回健康塾 キズの110番

2/13 (木) 14:30 ~ 15:00

形成外科 部長 坂井靖夫 医師

第13回健康塾 脳卒中 SOS

3/14 (金) 14:30 ~ 15:00

脳神経外科 部長 浦西龍之介 医師



11/14 第9回健康塾 めまい

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 部長 宮下仁良 医師

いろいろな原因で起こる「めまい」。その中でも注意すべき症状や家庭でできる予防法などを、お話いたしました。耳の図解を用いた解説や、改善方法のほかに、気持ちの持ち方などのアドバイスがあり、参加者の方に熱心に聞いていただけました。



12/4 第10回健康塾 なぜ、乳がん検診が必要か。

乳腺センター センター長 阿部元 医師

日本人の2人に1人が「がん」にかかります。その中でも女性に多い乳がんの一次予防について、また検査・診断の流れなどわかりやすく具体的にお話いたしました。

「検診の大切さがよくわかった」「直接医師に質問できる機会があって良かった」等のご感想をいただきました。



1/9 第11回健康塾 冬の感染症

副院長 大島利夫 医師

冬の代表的な感染症であるインフルエンザ・ノロウイルスについて、専門的な解説や「うつさない」「うつらない」為にするべきことなどをお話いたしました。

ユーモアを交えた講演となり、アットホームな雰囲気の中で、参加者の方に大変喜ばれました。





被ばくについて

放射線室 技師長 鈴木賢昭



環境放射線被ばくとは、医療などの意図的な被ばくではなく自然界からの被ばくを指します。では、『大阪の大気中の放射線量は、0.05 μ Sv/h（マイクロシーベルト毎時）です。胸部 X 線検査の 1 回線量は、約 0.1mSv（ミリシーベルト）です』とすると、どちらが健康への影響が大きいのでしょうか？という素朴な疑問が生まれます。

疑問をひも解きますと、前者は大気中に含まれる数種類の放射性物質からの内部被ばくであり体が放射線にさらされ続けます。そのため、複数の放射性物質によって、体から自然に排出される放射線量の違いなどを考慮し検討する必要があります。

後者は、電氣的に発生させた光子による一時的な外部被ばくですが線量に 4 桁の違いがあります。被ばくする工程が違って、両者とも人体に何らかの作用を及ぼしていることは事実です。しかし、影響の差は小さすぎて誰にも解りません。解っていることは、人体には遺伝子レベルの修復能があり、被ばくによる障害が発生する確率は自然発生率よりも低いということです。

医療では健康に影響を及ぼす恐れのある大線量を要することもあり、検査による被ばくを最小限に抑えるため、ベルランド総合病院は日本診療放射線技師会（公社）認定の「医療被ばく低減施設認定」を 2006 年 6 月に取得（全国で 6 番目、関西で最初）し、より低侵襲な医療を提供しています。

これらの活動が認められ、東日本大震災後の 2011 年 5 月より内閣府の要請を受け、多くの国民からの放射線被ばくに関する相談に対応してまいりました。その経験から感じたことは、“国民の疑問は科学的な一般論ではなく、自身や家族の健康への影響は？という個別性である”ということでした。複雑な環境放射線被ばくの影響を簡単に正しく理解し“自分は安全？”という素朴な疑問に対応して頂きたいとの思いから、放射線技師の有志により、患者の目線から答える「解らないことだらけの放射線被ばく」（医療科学社）を発行いたしました。

今後も、複雑怪奇で目に見えない放射線を見える形で伝えていくことが、放射線技師の大切な使命と感じています。



安心して放射線検査を受けてもいいの？



解らないことだらけの放射線被ばく

—医療被ばくの専門家である診療放射線技師が答える
(株式会社 医療科学社)

ベルランド総合病院 放射線室 技師長 鈴木賢昭が分担執筆いたしました。東日本大震災発災直後から日本診療放射線技師会が行ってきた放射線被ばく相談事業の一部をまとめたもので、国民が疑問に思っている「放射線被ばく」について診療放射線技師の専門家がわかりやすく説明しております。Q&A 方式で書かれており、読みやすいものとなっておりますのでぜひご活用ください。お求めはお近くの書店にてお願いします。



ベルランド総合病院への交通

電車とバスをご利用の場合

泉北高速鉄道「深井駅」より

南海バス〈泉ヶ丘行き・あみだ池行き〉

東中学校前バス停下車徒歩1分

または〈北野田駅前行き〉高山バス停下車徒歩5分

南海高野線「北野田駅」より

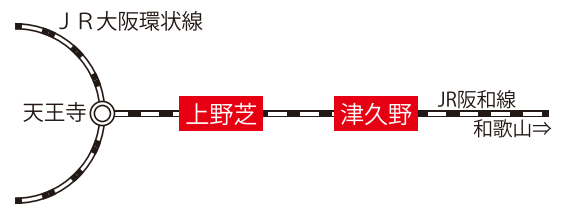
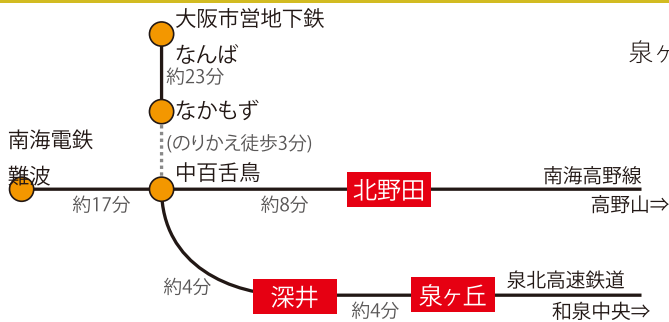
南海バス〈西区役所前行き・東山車庫前行き・深井駅行き〉

高山バス停下車徒歩5分



送迎バスのご案内

泉ヶ丘駅・北野田駅・上野芝駅・津久野駅・深井駅の5駅から発着



泉ヶ丘駅発	ベルランド総合病院発泉ヶ丘駅行き
7:30-13:45 まで 毎時 00・15・30・45 分発 14:00-19:30 まで毎時 00・30 分	7:20-13:50 まで 毎時 05・20・35・50 分発 14:20-19:20 まで毎時 20・50 分
北野田駅発	ベルランド総合病院発北野田駅行き
8:45-17:15 まで毎時 15・45 分発	8:30-17:00 まで毎時 00・30 分発
上野芝駅発	ベルランド総合病院発上野芝駅行き
8:35-15:35 まで毎時 35 分発	8:15-15:15 まで毎時 15 分発
津久野駅発	ベルランド総合病院発津久野駅行き
8:20-15:20 まで毎時 20 分発	8:00-15:00 まで毎時 00 分発
深井駅発	ベルランド総合病院発深井駅行き
8:35-15:35 まで毎時 35 分発	8:00-15:00 まで毎時 00 分発

